

飯田の魅力 台湾で放送

飯田市の文化や見どころを紹介する番組の台湾放送が始まった。二〇二七年のリニア中央新幹線の開通を見据え、海外にまちの魅力を広める。

(高畑章)

文化や観光地を紹介

番組は「未来都市―日本飯 題した四回構成のプログラム田」(日本版は「リニア未来 ム。若者の誘客を目指して飯都市 飯田トキメキ旅」と田ケーブルテレビなどが企画



台湾で放映する番組の一場面

若者の誘客狙う ネットで世界へ配信予定も

・制作した。地上波の民放局が、十六日から四週連続で台湾全土に放映している。インターネットで世界へ配信する予定もある。

番組は各回三十分で、台湾の男性プログ執筆者ベニーさんと、外務省の委嘱で若者文化を発信する木村優さんが案内役として登場する。

初回は、市街地で開かれるポップカルチャー祭り「飯田丘のまちフェスティバル」や、今田人形座のもようを紹介。浄瑠璃から漫画のフィギュアまで網羅した、市の人形文化を伝えた。

二回目以降は、「遠山の霜月まつり」など山間の伝統文化や、天竜川の船下りに代表される観光資源を取り挙げる。

同社の吉川治司・常務取締役(五也)は「リニアを基盤に、長期的な視野でまちのブランド化を図っていきたい」と話した。

台湾放映の終了後の来月八日から、同番組を飯田ケーブルテレビで放送する。さらに会員向けアニメ動画サービスを手掛ける企業「Crunchy コニ(クランチロール)」を通じて、英語圏に配信する予定。